

## 野球部からの告知

・昨今の慶早戦動員数減少を受け、野球部・應援指導部・慶早戦支援委員会が三団体合同による企画を立案し、全塾協議会の場でその告知を行いました。

<内容>

慶明戦のチケット購入者に対し、慶早戦のチケットを優先的に販売。1000枚限定。動員数がこのまま減少の一途を辿れば、慶早戦延長時の休講の意義が薄れ、制度そのものがなくなってしまう恐れもある。この機会にぜひ、慶早戦の観戦に来てみてほしい。

<質問・意見>

星（福厚機）：受付はいつ開始するのか。

小関（野球部）：メールによる受付はすでに開始している。

<評決> 承認

事実、早稲田大学の早慶戦延長時の休講制度は廃止されているので、かなり現実的な問題とされます。この機会に動員数が増加に転じることを期待します。

## 湘南自治会の代表者交代申請

・湘南自治会の会長の交代にあたり、新会長の村上氏が全塾協議会の場で挨拶をしました。

<内容>

湘南自治会の不祥事を越え、組織を建て直した先代を引き継ぎ、これから湘南自治会を自治組織としてさらに立派なものとしていくよう努めます。

<評決> 承認

湘南藤沢キャンパスの代表として、全塾協議会にとって重要な位置にいる湘南自治会には、これからの活躍が期待されます。

## 矢上祭実行委員会の独自財源支出申請

・矢上祭実行委員会が独自財源支出の承認の為、全塾協議会の場で内容の説明をしました。

<内容>

支出内容は、矢上祭10周年企画としてギネス記録に挑戦するためのギネス申請料15万円。ギネスの申請は英語で申請する方法と日本語で申請する方法があり、英語で申請する場合は申請料を取られないが、英語申請の場合は申請してから実際に記録を見てもらうまでに長い時間がかかり、矢上祭の当日に間に合わない。そこで、日本語での申請によって発生する15万円の支出を認めてほしい。支出内容に関しては問題ないと思うが、今回は個人のクレジットカードを使った支払を行うため、その点の承認をお願いしたい。

<質問・意見>

藤田（全慶連）：ギネス記録に必要な人数は集まっているのか。

（矢上祭）：あと800人ほど必要。

<評決> 承認

矢上祭10周年企画としてギネス記録達成は是が非でも成功させてほしい。人数が必要ということなので、ギネス記録に協力したいという有志はぜひ参加してみたいかだろうか。

### **三田祭実行委員会の独自財源支出申請**

・三田祭実行委員会が独自財源支出の承認の為、全塾協議会場で内容の説明をしました。

<内容>

支出内容は、資材運搬に必要なレンタカーのレンタル料、及びそのガソリン代。車3台を2ヶ月間借りて、合計支出額は60万円前後になる予定。運搬の度に借りて、毎回ガソリンを満タンにして返すより、2ヶ月間ずっと借りていた方が安く済む。10月1日から支出が始まるため、独自財源支出を認めていただきたい。

<質問・意見>

若月（事務局長）：駐車場代はかからないのか。

（三田実）：車はレンタカー屋に置くため、駐車代はかからない。

<評決> 承認

三田祭まで残り約2か月となり、実行委員会の仕事も本格化しているようです。日本一の文化祭を司る委員会として、今年もよろしくお願いします。

### **リーダーズキャンプで特に不備のあった団体の予算審議**

・リーダーズキャンプにおける予算審議において、不備などの問題で審議が完結しなかった二団体について、全塾協議会場で再び審議されました。

#### **塾生会館運営委員会**

<内容>

電話代として申請していた60万円は、実は6万円の間違い。電話代というのは三田祭実行委員会とオリエンテーション実行委員会が使用した電話代に対する立て替え分。また帳簿には電話代40万円とあるが、これも4万円の間違いで、残り2万円はマスターペーパー代。立て替えをしている理由は、電話を多用する時期であり、これまで慣習としてあった為。両委員会から電話代の支払いを受けた分が収入欄に記載されていないが、これは今年度分がまだ支払われていないため。前年度分は年度中に支払われたため、今年度分の帳簿には記載されていない。

また、マスターペーパー代として学生から徴収している分の収入が帳簿に記載されていないが、業者に払う額との差額は発生していないと思う。マスターペーパー代の総売上額は、資料がないため不明。次回の全塾協議会において、印刷機購入の件と合わせて説明する。

<評決> 予算申請75,000円に対し、70,000円を交付。

事務局長より、建て替えに対する支払が年度中にあるのか、次年度まで待つのか、を統一するべきとの意見がありました。検討の末に実現されることを期待します。

また、塾生会館運営委員会は、偶然かもしれないが毎回、財務について把握していない人が毎年リーダーズキャンプへ出席しています。こうして審議が2度手間になるのもその為なので、これを防ぐためにも引き継ぎをしっかりと行ってほしいと思います。

## 国際関係会 (I.I.R.)

<内容>

まず交付金について、留学生の新幹線に乗る費用を2重に支払うミスがあった。これについては、すでに回収してある。また、ウェルカムパーティーについて申告漏れがあった。普段の借入は独自財源から出していたが、この時は口座に十分な金額が残っていなかったため、やむを得ず交付金口座の方から借入した。さらに、関西の観光の際に口座から引き出した額と実際に支出した額にズレが生じたが、これは銀行の事情による。国際関係会のみずほ銀行を利用しているが、関西ではみずほ銀行のシェアが極端に低く、ATMが京都駅にたった1つあるだけで、しかもコインの取引を扱っていない。この為、支出額に応じて引き出すことができず、結果として5000円のズレが生じたが、現在は修正されている。次に独自財源会計について、借入に出していた13万円が返済されていた点についての記載漏れや、外国人に渡すプレゼント代を二重に申請するミス、さらに領収書を出した支出項目を支出一覧に記載が漏れていたなどのミスがあった。また、追いコンの支出の一部について見落としがあり、20万円と記載してあるが実は37万円だった。以上のミスを念頭に計算し直すと、交付金会計は収支が一致し、独自財源会計のズレは300円ほどに減少する。ここまで大きなミスが起こった原因は、決算書類の作成が著しく遅れ、慌ただしく行われたため、正確さに欠ける帳簿となってしまった事。また、国際関係会の交代は時期が特殊であり、年度の途中で通帳を持つ人が代わり、連携不足となってしまったことも原因に挙げられる。実は金額のズレは把握していたが、余りに時間が足りなかったため、そのまま提出してしまった。これからは、事務局から改善策として提案された、監査の二期化および内部監査の二重化を取り入れたい。

<質問・意見>

清水(全ゼミ): 交付金からの借入は認められるものなのか。

後藤(I.I.R.): 緊急に必要なだったため、やむを得ず借入した。普段は独自財源から出すよう努めている。

若月(事務局長): これからは交付金から借入する事はしないように。

藤田(全慶連): どうしても必要な場合は部員から集金するべき。その苦労も会計の仕事。

後藤(I.I.R.): はい、がんばります。

東(四谷): 借入という制度を残してしまっているのは、たとえ今のI.I.R.が十分な会計管理をして、数年後にまた同じ問題が起こる可能性がある。交付金・独自財源からの借入という制度をなくすことが、後世のI.I.R.にとっても必要な措置だと思う。検討してほしい。

後藤(I.I.R.): はい。

南條(事務局員): 各プログラムで財務担当者が異なるなら、毎回の引き継ぎを全塾協議会の場で表明してほしい。

神村(事務局員): または各財務を統括する役職を設置してほしい。

<評決> 予算申請1,400,000円に対し、880,000円を交付。

全塾協議会傘下団体として、今後は厳格な会計管理体制の制度化を期待します。

## 国際関係会の独自財源支出申請

・国際関係会が独自財源支出の承認の為、全塾協議会の場で内容の説明をしました。

<内容>

毎年5月に、春の留学生に向けショートプログラムを開催している。事後報告になるが、独自財源支出として承認してほしい。

<質問・意見>

若月(事務局長): 毎年の申請が今までなかったようだが、前年までの申請はどうしたのか。

後藤(I.I.R.): 事前申請が必要とは知らなかったため、申請していない。

若月(事務局長): 監修枠からの支出だと思って見落としていたが、独自財源からの支出であったなら、今後は毎年の申請をお願いします。

若月(事務局長): 国内での活動には、部員しか参加できないのか。

後藤(I.I.R.): はい。

若月(事務局長): 交付金をもらっている団体として、参加対象をより広げてもらいたい。

<評決> 承認

学生自治会費から出す交付金は、広く学部生に還元するためのものなので、交付金を受ける団体はより多くの学部生の大学生活に貢献できるよう努めるのが理想とされます。国際関係会には、今後の活躍が期待されます。

## 卒業式の報告

・長く決まらなかった卒業式の詳細について、事務局長から学校側から連絡があった分の報告がありました。

<内容>

卒業式の会場は、結局は日吉の記念館を使うことに決定した。また、学校側からの提案として、卒業式後の卒業生交流イベントが企画されている。まだ殆ど何も決まっていないが、逆にそれだからこそ、今なら柔軟に意見を取り入れることができるとのこと。何か学生側からの意見を募集したい。

<質問・意見>

藤田(全慶連): 学校側が全ての運営を行うのか。

若月(事務局長): そのよう。何か学生からの提案があれば取り入れたいらしい。

レダ(事務局員): 卒業記念品の告知およびその申込所の設置を提案したい。

藤田(全慶連): 学部によって会場を分けるようなことはしないでほしい。

南條(事務局員): 中庭にステージや出店を設置してみてもどうか。

藤田(全慶連): 女子向けに更衣室の設置をしてほしい。

植松(事務局員): 室内での開催は規模的に不可能だと思う。

藤田(全慶連): 学生の協力が必要になる場合は、早めに中止を告知してほしい。

<評決> 反対する理由はないが、学生側の運営への協力は期待しないでほしい。卒業式の詳細が定まらないために園遊会の公式な復活事業が中止されたので、卒業生の最後の語らいの場には期待が寄せられそうです。今後の大学側の動きに注目です。

## 合同納会について

・園遊会の復活事業は頓挫しましたが、その遺産を使って事務局員が何かを目論んでいるようです。

<内容>

園遊会に使う予定でいたホテルの仮契約がまだ生きていて、300人単位での使用も可能な状態にある。そこで、この機会に全塾協議会合同納会を企画したい。参加対象者は、全塾協議会を構成する二十団体は勿論、各団体の直下団体（文化団体連盟公認サークルなど）まで対象にする。会場を見学したところ、設備は非常に良い。楽器などの演奏も可能。次回の全塾協議会までに、周囲の関係者に参加の可否を聞いておいてほしい。

<質問・意見>

：参加費はどのくらいか。

神村（事務局員）：謝恩会プランでも8000円ほど。高くても1万円は超えない予定。

：日取りはいつになるか。

神村（事務局員）：卒業式の日を予定したいが、まだ変更可能。

藤田（全慶連）：一部で飲み会などのイベントが苦手な人もいるという点も留意してほしい。

## 次回の全塾協議会日程について

日時 10月20日（火）18:30～

場所 三田キャンパス

全塾協議会は、慶応義塾大学学部生の最高意思決定機関として、公開の原則を持っています。会議は原則として傍聴自由であるので、興味のある方はぜひ会場にいらっしゃって、慶応のトップを間近に感じてみてください。

お問い合わせは第18期事務局員 高野拓貴（mail: [mid-white@live.jp](mailto:mid-white@live.jp)）まで。

全塾協議会 HP : <http://www.keio-zenkyo.com/>

全塾協議会事務局 部室：日吉 塾生会館 221号室

三田 西校舎学生団体ルーム 11番